

NGO 相談員出張サービス実施報告書

平成 28 年 7 月 26 日（火）
（特活）関西 NGO 協議会

1. 企画名：大阪国際交流センター、国際協力に関する講演
2. 実施者：
 - ①高橋 美和子／（特活）関西 NGO 協議会
 - ②大豊 盛重／（公社）日本国際民間協力会（NICCO）
3. 日時：
 - ①平成 28 年 7 月 23 日（土） 10 時 00 分～16 時 30 分
（内出張サービス講演時間 13 時 00～14 時 00 分）
 - ②平成 28 年 7 月 24 日（日） 10 時 00 分～16 時 30 分
（内出張サービス講演時間 11 時 30 分～13 時 00 分）
※両日とも第 1 回高校生実行委員会にて実施
4. 場所：
大阪国際交流センター
（〒543-0001 大阪府大阪市天王寺区上本町 8-2-6）
 - ①会議室銀杏 3F
 - ②交流スペース L1F
5. 参加者：
 - ①20 名 ②15 名
6. 実施報告：

<内容>

①7 月 23 日 相談員：高橋美和子（関西 NGO 協議会）

2016 年 12 月 23 日に開催するワン・ワールド・フェスティバル for Youth 高校生のための国際交流・国際協力 EXPO2016（以下、ユース EXPO2016）の第 1 回高校生実行委員会にて、本事業のプログラムを高校生たちが企画・実施するにあたり、「持続可能な開発目標

「(SDGs) と NGO の役割」をテーマとし、世界の支援活動の潮流、日本の ODA、SDGs の策定背景や内容、特徴について講演、SDGs をテーマとしたワークショップを実施した。

②7月24日 相談員：大豊 盛重（日本国際民間協力会 NICCO）

2 日目は SDGs の目標達成にむけた取り組みとして、海外のフィールドでの支援活動について、事例を用いて講演を行った。今回は、日本国際民間協力会 NICCO の NGO 相談員に協力を得て、現地における活動内容（緊急災害支援やアフリカにおける公衆衛生分野の支援など）実際の国際協力の現場での課題、支援活動の内容、その成果について講演いただき、グローバル課題や国際協力を自身の生活に引き寄せて考える機会、関心を醸成する内容とした。

<所感>

12 月 23 日に開催するワンフェス forYouth 高校生のための国際交流・国際協力 EXPO2016 高校生実行委員会及び教員を対象とした出張サービスであったため、参加者は皆まじめにメモを取りながら真剣に受講していた。SDGs については、内容を自身の生活と引き付けて考えられるよう、ワークショップを実施、話を聞くだけではなく自分たちで議論に参加するかたちとした。

高校生実行委員からは「国際」というタイトルがつくと、自分たちの普段の生活とは関係のない問題と捉える同級生が多いといった現状が報告された。高校生実行委員会終了後には、こうした状況を変えていくためにも、多くの高校生が様々な地球規模の課題が自分たちの生活や日本の社会と深く関係していることを伝え、参加者が国際課題について考え、国際協力に参画するきっかけづくりにしたいという意見が述べられた。

今回、国際協力の大きな流れや ODA に関する講演を行った後に、実際に海外で支援活動を展開している団体から話を聞くといった二段構えの形にしたことで、高校生たちの学びを深めることができたと考える。加えて、参加者は自分たちが発表する立場になる前提で話を聞き、質問をしていたため、具体的に 12 月のイベントでどのように活かすかが期待される。今後も、NGO 相談員や加盟団体と連携しながら、こうした場づくりを設定し、積極的に国際協力分野におけ

る若い世代の関心を醸成し参画の機会を創出したいと考える。

7. 別添（写真）



一日目の講演とワークショップの様子
（出張者：高橋美和子/関西 NGO 協議会）



二日目の講演の様子
（出張者：大豊盛重/日本国際民間協力会 NICCO）

以上

NGO 相談員出張サービス実施報告書

1. 企画名：カルタを活用した国際理解教育（KTC 中央高等学院高松キャンパス）
【形態：相談対応サービス・講演・セミナー・その他（ワークショップ）】
2. 実施者：竹内 よし子（特定非営利活動法人えひめグローバルネットワーク）
3. 日時：2016 年 7 月 5 日（火）10：00～12：00
4. 場所：KTC 中央高等学院高松キャンパス（香川県高松市番町 1-6-6）
5. 参加者：高校 1 年生～3 年生 25 名
6. 実施報告：本事業で昨年度作成し、四国内の全高校に配布した「グローバル・ローカル」かるたを活用したワークショップをグループごとに行い、世界で起こっている国際・環境に関わる取り組みや課題について情報提供を行った。その後、具体的な国際協力活動の事例として、当団体のモザンビークにおける「銃を鋤へ」プロジェクトでの平和構築活動やコミュニティ開発の取り組みなどについて情報提供を行うとともに、四国の国際協力活動をまとめた冊子「四国国際協力と ODA」を配布し活用した。その後、生徒からの国際協力活動・ボランティア活動などに関する質問や相談に対応した。さらに、NGO 相談員のポスターを学内に掲示してもらえよう依頼し、本制度の PR につなげることができた。

[主な対応内容]

- | | | |
|---|------|---|
| ① | 相談内容 | 自分たちにできるボランティア活動について教えてほしい。 |
| | 対 応 | 冊子「四国国際協力活動と ODA」を活用して香川県を拠点に活動している NGO（セカンドハンド、香川国際ボランティアセンター、オイスカ四国研修センター）が行っている国際協力ボランティア活動について情報提供するとともに、環境の情報については四国環境パートナーシップオフィス（四国 EP0）が活用できることを情報提供した。 |
| ② | 相談内容 | 過去にけん玉募金を実施したことがあり、今後もこのような活動を続けていきたいと考えているので、アドバイスが欲しい。 |
| | 対 応 | 寄付付き商品の開発、フェアトレードの販売促進など高校の中でも取り組めることがあると回答し、今後も引き続き意見交換を行いながら情報提供を行うこととなった。 |

7. 別添（写真）

